

縁をつなぎ 安心をとどけるお寺

清元院だより

第13号



中国に坐禅を伝えた

『菩提達磨大和尚(ダルマさん)』

清元院 開山堂入口左側

清元院の開山堂入口左側に上の写真の『菩提達磨大和尚』(ぼだいだるまだいおしょう)さまが安置されています。みなさんよくご存じの「七転び八起き」や「ダルマさん」の愛称で有名なインドの和尚さまです。

今から約一五〇〇年前にはじめて中国に「禅」の教えを伝えた禅宗の初祖とされています。「碧眼の胡僧(青い目の異国の僧)」とも言われ、中国では少林寺に入り九年間壁に向かって坐禅をされました。その際、寒さよけに赤い掛け布団を頭からかぶって坐禅された姿がこの姿です。よく見掛ける縁起物のダルマもそうですね。

清元院の達磨さまは、今から二八〇年前の江戸時代中期(寛保元年…一七四一年)に大熊の高力久美家先祖「大円古鏡」により寄進されたものです。約三〇〇年の時を経て今なお清元院を導いてくださる達磨さまを見るたび、自然と身が引き締まり「日々精進」の気持ち湧いてきます。

誌上法話⑧

以西仏さまめぐり③

和尚さん教えて②

還暦戒名のススメ

大切にしたい言葉

令和三年 年回表

発行…曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之

佛歴二五六四年 令和三年一月一日

誌上法話⑧

「成仏する生き方」

お正月から成仏（じょうぶつ）の話なんて…と思われるかもしれませんがね。書いて字の如く、仏に成ることを成仏と言います。亡き方に、安心してあの世に行ってくださいとか、立派な仏さまになってくださいといった願いを込めて使われる言葉です。でも実は「成仏」とは、生きている私たちに向けられた言葉なのです。つまり「生きている間に仏に成るのですよ」という仏教の教えなのです。

では仏とは何かというと、「人の幸せをひたすらに願ひ、行う人」のことを仏と言います。仏の第一号はお釈迦さまです。いつも言いますがお釈迦さまは、八十歳で亡くなられた実在の人物、生身の人間です。三十五歳で※悟りを開かれたお釈迦さまは、幸せに生きるためには「悪いことはしない。よいことを進んでする。人のためになることをする」ことだと気付かれました。そしてそれを実行するために、自分のことはすべて後回しにして、生涯人々の幸せのために旅を続け、色々な人たち

※「悟り」

ものを欲しがったり、怒ったり、悩んだりすることがなくなり、この世の本当のことがわかること



の悩みに合わせて、まるでお医者さんが薬を与えるように、ひとつひとつ解決していかれたのです。

私たちはお釈迦さまのようにはできないかもしれませんが、マネならやろうと思えばできますよね。そのマネをする方法は、みなさんのお家の仏壇にあるお経の本「修証義」第四章の発願利生に書いてあります。

【布施】自分の持っているものを喜んで分け与えること

【愛語】思いやりのある優しい言葉で話すこと

【利行】人のためになることを進んですること

【同事】相手の気持ちを自分の気持ちのようにな感じて一緒に喜び一緒に悲しむこと

この中でたつたひとつだけでもよいし、少しずつでもよいですからマネしてみましよう。すると「言葉」と「行い」はあなたの習慣になって心と体にしみこんでいきます。マネができるなら、あなたは仏さまと同じくらい素晴らしいということなのです。はじめはマネをすることから。それがそのまま本物の仏に成るのです。

仏教は「仏に成る成仏の教え」です。あなたが誰かのために願ひ・行うことで幸せな気持ちになつたら、それが成仏した瞬間です。布団に入つて、今日が誰かの役に立てたよい一日だったと思えたら、それが成仏した一日なのです。

仏教は生きている人のためにあります。毎日成仏しましょう！ 一日に何回も成仏しましょう！

以西仏さまめぐり③

大熊観音堂

【聖観音・馬頭観音】

大熊神社すぐそばの大熊観音堂には、聖観音（しょうかんのん）・馬頭観音（ばとうかんのん）の二体の観音さまが祀られています。聖観音は享保二年（一七一七）に倉吉の仏師「伊助」によって作られ観音堂に納められました。最初は彩色のない無垢でしたが、三十一年後の延享四年（一七四八）と天保十年（一八四〇）に彩色され、今回、令和元年（二〇一九）に一七九年ぶりに三回目の彩色修理がなされました。もう一体の馬頭観音には記録がなく詳しいことは分かりません。

聖観音さまは、人々を觀ていて、救いを求める声（音）が聞こえたら瞬く間に救済してくださる仏さまです。馬頭観音さまは、馬が草を食べ尽くすように煩惱を食べ尽くしてくださる仏さまです。また昔、移動や農耕に欠かせなかった馬を含めた家畜の安全と健康を祈る仏さまであります。

現在も大熊の有志のみなさんが観音講を続け、大数珠を繰っては部落中の健康と幸せを祈願されています。



馬頭観音



聖観音

おっ 【和尚さん 教えて！②】 ～仏壇の扉編～

Q1：仏さまのお正月は1月15日からだから、それまで仏壇の扉は閉めておくものだと聞きました。

A：開けておいてください。仏さまも1月1日からお正月です。初もうでは神社だけでなくお寺にも行きますよね。初もうでの参拝人数も、1位は明治神宮ですが、2位 成田山新勝寺、3位 川崎大師、4位 浅草寺…とお寺が上位を占めています。今年も新しい年を迎えることができた感謝と今年の決意を報告に行くのは神仏どちらでもよいのです。1番身近な仏さまは仏壇におられます。仏壇の本尊さまとご先祖に初もうでと同じように手を合わせてあげてください。扉が閉まっていますではできませんからね。



Q2：お葬式の時や49日が終わるまでは仏壇の扉を閉めておくのですか？

A：開けておいてください。大切な亡き方を導いてくださるのは、曹洞宗では本尊のお釈迦さまです。そのお釈迦さまは仏壇の真ん中におられます。またご先祖さまにも見守っていただきながら49日を過ごしていただきたいものです。

*亡き方だけを一心に拝みたいから仏壇を閉めるんだと言われる方もあります。供養する方の気持ちが第一ですのでご自身が一番納得できる方法でご供養ください。供養の仕方を押し付けるものではありません。

コラム

還暦戒名のススメ

「戒名とは、亡くなった方にお付けする名前ではありません。いつも私が申し上げている言葉です。」

「戒名は生きている間に仏教徒の証としていただくもので亡くなって授かるものではありません。」

戒とは、「いましめ」ととらえると何だか恐ろしい感じがしますが、お釈迦さまとの「約束」です。毎日を大切に幸せに生きていくための十六の約束。約束を守ることを誓った証として授かるのが戒名です。善く生きるために頂くもののなのです。

戒名はいつでもお授けしますが、事前に今までの人生や、これから生きたい人生などを伺いしてから、作法に則りお授けします。

おススメは還暦戒名。退職など人生の節目に、自分の生き方を見つめ生き直し、再スタートを切るためにも、ぜひ還暦戒名をおススメします。

令和3年カレンダー

大切にしたい言葉

今年も配布させていただく版画カレンダー。私の心に響いたいくつかを紹介します。

◇2月

「あらゆるものは 変る」

※無常…この世に変わらないものは何もない。すべては変わっていくのだ。

〔お釈迦さまの言葉〕

◇4月

「生れたからにはやるしかない」

◇6月

「人が喜ぶことをしよう」

◇8月

「人の貴賤は行いによる」

◇10月

「一日一日が人生」

◇12月

「あなたに ありがとう」



3/21 はすとも 大募集

桜の花が咲く前、3月21日(日)午後1時半からハスの蓮根を植え替えます。全部で50鉢です。ので、住職一人では大変です。そこで蓮友(はすとも)を募集し、みなさんと一緒にハスを植え、育て、花を楽しみたいと思います。お手伝いいただいた方には蓮をおすそ分け致します。みなさん「はすとも」に参加して蓮を楽しみませんか！(※汚れてもよい服装でおいでください)



2/24 お寺ヨガ50回記念

お寺ヨガが2月で通算50回目を迎えます。真由美先生には大変お世話になりました。大勢で参加することと感謝の気持ちを伝えませんか？皆様の皆様をお越しをお待ちしております。

今年も満開！ 門前コスモス

宮木部落のみなさんが6月下旬に門前の田んぼ4枚に蒔いてくださったコスモスが、今年も美しい花を咲かせました。「お寺の前の田んぼを荒らすわけにはいかない。」そう言うて始まり3年目。今年も多くの方に楽しんでいただけました。本当にありがとうございます。春に向け、菜の花の種がすでに蒔いてあります。黄色のじゅうたんが広がるのが今から楽しみです。



令和2年 清元院で 参禅された方々

・坐禅会	のべ23名	・写経写仏切仏の会	のべ64名	・お寺ヨガ	のべ43名	・お地蔵様作り教室	21名	・ことっ子クラブ (学童保育)	20名	・赤碕小学校2年生	35名	・船上小学校1年生	20名	・琴浦バレーボール スポーツ少年団	22名	・琴浦町商工会女性部	12名	・船上子ども園	34名	【法話・講演活動】		・大栄小学校へ (児童)		・高城小学校へ (保護者)		・法恩寺へ (盆法話)	
------	-------	-----------	-------	-------	-------	-----------	-----	--------------------	-----	-----------	-----	-----------	-----	----------------------	-----	------------	-----	---------	-----	-----------	--	--------------	--	---------------	--	-------------	--

※コロナ禍で大変な中、よくおいでくださいました。

◆四月までの行事予定

- ◇1月1～3日 三朝祈願
- ◇3月13日 大般若法要 (落語会)
- ◇3月20日 先祖供養
- ◇3月21日 蓮の植え替え (午後1時半)
- ◇4月3日 お地蔵様作り教室 (午後1時半)
- ◇4月11日 花まつり (午前10時)

◆月例行事

- ◇写経写仏の会
・第1日曜 午後3時
- ◇坐禅会
・第3日曜 午前6時
- ◇お寺ヨガ
・第4水曜 午後7時30分

◆令和三年 年回表

一周忌	令和二年
三回忌	令和元(平成三十一)年
七回忌	平成二十七年
十三回忌	平成二十一年
十七回忌	平成十七年
二十五回忌	平成九年
三十三回忌	平成元年
五十回忌	昭和四十七年



清元院

住職 井上 英之

〒689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57
Tel.0858-55-7063 fax 0858-55-7064 携帯 090-4923-8768
メール inoter1@mx1.tcbnet.ne.jp facebook :井上英之 清元院